

(お 知 ら せ)



平成 23 年 5 月 2 日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（5月2日現在）

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第33回定期検査中 定期検査の工程表は別紙1のとおり
2 号 機 加圧水型（116万kW）	運転中

（ ）内は定格電気出力

2. 故障等の状況について（平成23年4月8日～平成23年5月2日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所3，4号機 準備工事について（5月2日現在）

（1）建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の追加切取工事、止水壁の構築工事、中央溪流砂防堰堤準備工事等を行っています。

（2）仮設工事関係

現在、浦底湾側において、本体工事で必要となる仮設用地の造成工事を継続すると共に、仮設用地内にてコンクリートプラント設備の設置工事を行っています。

4. 東北地方太平洋沖地震関係

当社は、平成23年3月11日に発生した、東北地方太平洋沖地震に起因する東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故について、現在判明している知見に基づき、できる限りの安全性向上対策を可及的速やかに実施することを検討し、敦賀発電所で実施する安全対策の実行計画について取りまとめております。

なお、今後も全力を挙げて事故の情報収集、分析を継続し、新たな知見が得られた場合には必要な対策について、迅速かつ的確に反映してまいります。

詳細については別紙2をご参照下さい。

5. その他

- (1) 敦賀発電所1号機 高圧注水系の運転上の制限逸脱に係わる原子力安全・保安院からの指示文書に基づく根本原因分析結果の報告について

敦賀発電所1号機で平成23年1月12日高圧注水系※¹のディーゼル機関の回転数が上がり自動停止した事象について、1月24日、原子力安全・保安院より、本事象が保安規定に違反していると判断され、嚴重注意を受けるとともに指示文書を受領しました。

(平成23年1月12日、13日、24日、2月4日発表済)

本事象について、根本原因分析を行い、その結果をとりまとめ、平成23年4月25日、原子力安全・保安院に報告しました。

今後、これらの根本原因に対する再発防止対策について、具体的な対策実施計画を策定して、確実に是正措置および予防措置を実施するとともに、その有効性を評価していきます。

(平成23年4月25日発表済)

- (2) げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

- 1) 平成22年度「青少年からのメッセージ・青少年へのメッセージ」ポスターの部入賞作品展

〔青少年健全育成敦賀市民会議主催のポスターコンテストの入賞作品展です。内容は「明るく楽しい家庭」「住みよい町づくり」等です。小学生、中学生、高校生、一般市民からのご応募の中から入賞作品を68点展示しています。〕

(4/26～5/8)

- 2) 押し花に魅せられて中山美恵子ひとり展

〔第2の人生を歩もうとした時、自然の息づかいが聞こえてきそうな押し花額絵に出合い、自然の恵みに感謝しながら今日まで夢中で歩いてこられたという中山 美恵子様の個展です。押し花額絵と押し花を使っの小物を約70点展示予定です。〕

(5/10～5/15)

- 3) 刻書 ひだまりサークル作品展

〔ひだまりサークル(代表:水野 之夫様)の皆様による刻書作品展です。ヒノキ、ケヤキ、サクラ等の板に彫刻刀を使って様々な文字を彫り、黒や緑の色を付けて仕上げる刻書。人生訓や和歌等さまざまな文字を彫刻した作品を約50点展示予定です。〕

(5/17～5/22)

4) 葉月会 切り絵展

〔葉月会切り絵教室（代表：齊藤 玲子様）の皆様による作品展です。敦賀市南公民館にて、講師の齊藤様による切り絵学習をされております。特にテーマは設けず、各々自由な作品約35点を展示予定です。〕
(5/24～5/29)

5) しゅんこうの和紙ちぎり絵作品展

〔しゅんこうの和紙ちぎり絵の会（代表：随原 俊子様）7名の皆様による4回目のちぎり絵作品展です。四季折々の花、風景、静物等を水彩画を描いたように優しく、美しく表現した作品を約25点展示予定です。〕
(5/31～6/5)

(3) げんでんふれあい福井財団イベント

＜福井県内の芸術・文化振興活動として以下の事業を実施しています。＞

げんでんふれあいコンサート2011

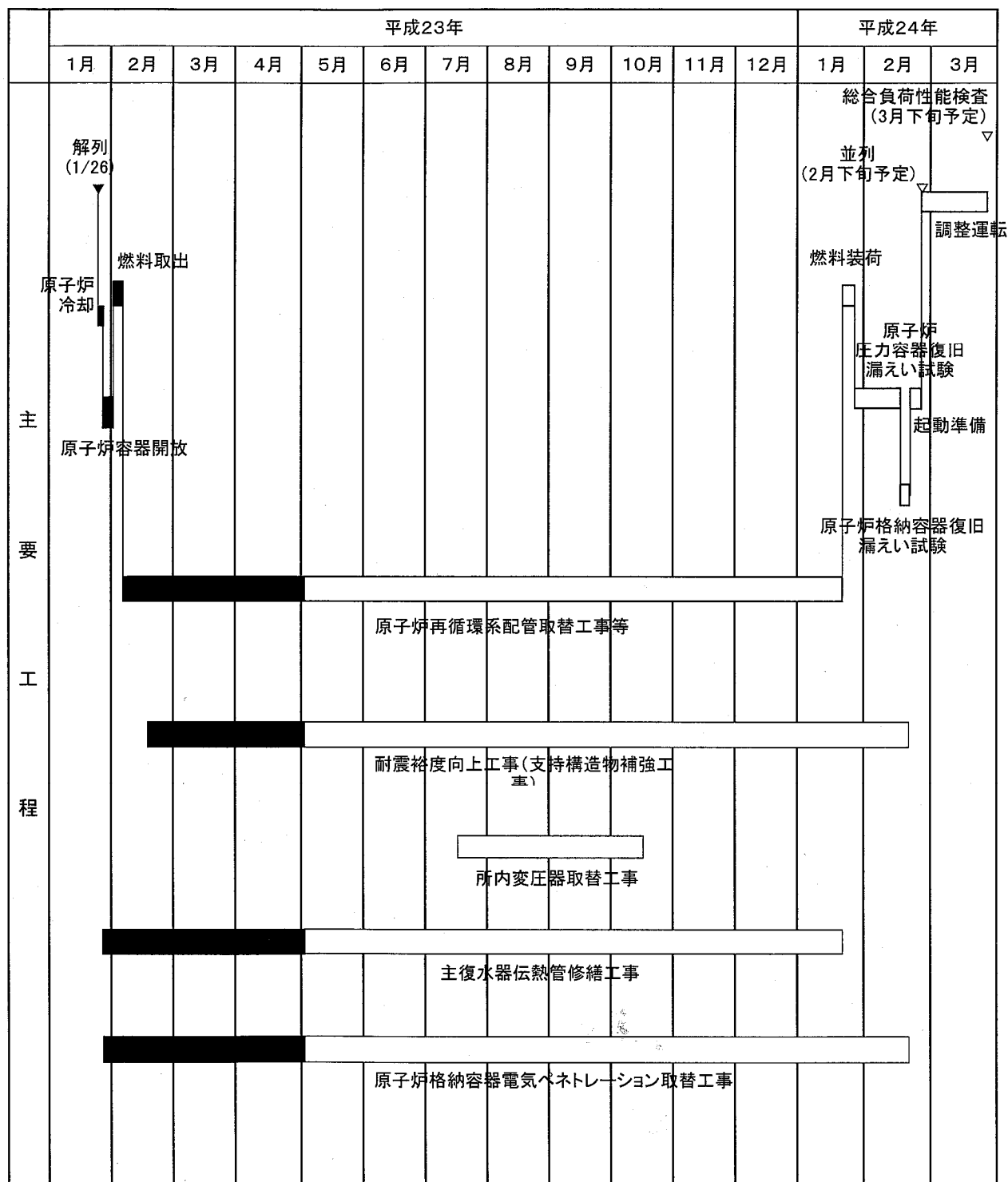
出演：杏里

日時：5/22 開場 15：15 開演 16：00

会場：福井フェニックス・プラザ

以 上

敦賀発電所1号機 第33回定期検査工程表



東北地方太平洋沖地震への対応実績（4月8日以降）

（１）安全性向上対策の実行計画の提出について

当社は、福井県の要請に基づき、敦賀発電所で実施する安全対策の実行計画をとりまとめ、福井県および敦賀市へ報告しました。

（平成23年4月8日発表済）

詳細は添付1を参照して下さい。

（２）保安規定の変更について

当社は、国の指示に基づき、以下の内容の保安規定^{※1}の変更認可申請を行いました。

※1 保安規定「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に基づき、原子力発電所の運転の際に実施すべき事項などを事業者が定めたもの

【保安規定の変更概要】

- ・電源機能等喪失時の体制の整備に関する措置として、原子炉施設の保全のために活動する要員の配置、訓練、電源車やポンプ、ホースなどの資機材の配備に関する計画の策定、計画に基づく活動の実施、および活動に関する定期的な評価を行うとともに、評価結果に基づき必要な措置を講じることを新たに保安規定に記載する。
- ・定期検査中等の冷温停止状態および燃料交換時においては、これまで原子炉ごとに非常用ディーゼル発電機1台以上が動作可能であることを定めていたが、今回、使用済燃料貯蔵プール等に使用済燃料を貯蔵する場合も含め、2台が動作可能であることに変更する。

（平成23年4月8日、4月21日発表済）

（３）緊急安全対策に係る実施状況の報告について

当社は、国の指示に基づき、津波により3つの機能^{（※2）}を喪失した場合の緊急安全対策について取りまとめ、その実施状況を経済産業大臣に報告しました。

※2 3つの機能

交流電源を供給する全ての設備の機能、海水を使用して原子炉施設を冷却する全ての設備の機能及び使用済燃料貯蔵プール等を冷却する全ての設備の機能

内容は、平成23年4月8日に発表した安全対策の実行計画に、除熱機能の確保（代替海水ポンプの配備、海水ポンプモータ予備品の確保）及び電源確保（将来的にディーゼル発電機の代替となる発電装置の設置）の対策を追加したものです。

（平成23年4月22日発表済）

当社は引き続き安全を最優先に、皆様に安心していただける発電所を目指し運営にあたり、今回の福島第一原子力発電所における事故を踏まえて、必要な対策を速やかに実施し、発電所の安全確保に万全を期してまいります。

(4) 支援の実績について

当社及び当社関係会社では、東京電力並びに関係自治体等に対し、応援要員の派遣、消防ポンプ車や放射線測定器等の資機材の提供を行っています。

1) 要員派遣実績（4月30日現在）

当社及び当社関係会社から16人（このうち敦賀地区からは5人）派遣中。

（3月15日以降の累計は、全社合計で延べ819人・日）

2) 資機材の提供実績

消防ポンプ車 1台

放射線測定器類（サーベイメータ、ポケット線量計等） 約130台

防護服 約3900着

その他（放管資機材）

(5) 当社の対応に係る広報活動について

当社では、地元の皆さまにご安心いただくため、当社地域広報誌「げんでんつるが」、ケーブルテレビ、新聞等により積極的に情報発信を実施してまいります。

<4月8日以降の実績>

～4月12日 ケーブルテレビ番組による広報

（地震後の対応及び安全性）

4月16日 「げんでんつるが」特別号（第3号）

（“敦賀発電所における安全性向上対策” 県内へ新聞折込み）

4月28日～ ラジオ特別番組による広報

（～5/2 “敦賀発電所における安全性向上対策”）

4月30日～ 民放テレビ特別番組による広報

（～5/7 “敦賀発電所における安全性向上対策”）

(6) 敦賀発電所敷地内での放射性ヨウ素等の検出について

敦賀発電所では、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ環境モニタリング測定を平成23年3月17日より強化し、敷地内における大気中の粉塵とヨウ素の放射能濃度を1週間に1回測定しています。また、従来から排気筒での粉塵とヨウ素の放射能濃度測定を行っており、これらの結果を当社ホームページ上に公開しています。

測定の結果、一部で放射性ヨウ素等が検出されましたが、ごく微量であり、人体に影響を与えるものではありません。

なお、本事象は敦賀発電所に起因したものではありません。

以上

安全性向上対策の概要ならびに実施時期

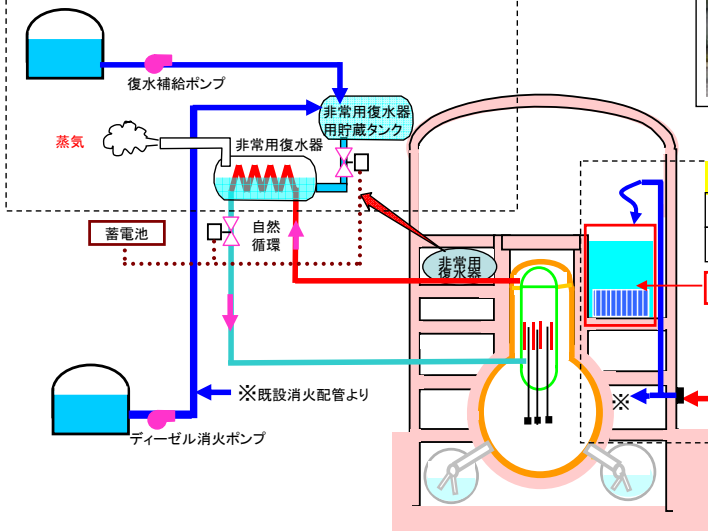
	安全対策		緊急対策の実行計画			応急対策の実行計画		
	項 目	概 要	号機	実施時期		概 要	号機	実施時期
設備面の対策	電源の確保	電源(車)、接続ケーブル等の配備、保管場所、健全性確認	共通	平成23年3月実施済み		非常用発電機代替設備の設置	共通	平成23年度下期配置予定 (平成23年4月手配済)
						海水供給用可搬式ポンプの設置	共通	平成23年度上期配置予定 (平成23年4月手配済)
						電源系の強化	1号機	平成23年度下期実施予定
	炉心冷却機能の確保	消防車、可搬式動力ポンプ、消火ホースの配置、保管場所、健全性確認	共通	配備済み (平成23年4月下旬追加予定)		非常用復水器への給水機能の強化	1号機	平成23年度下期実施予定
						純水タンクおよびろ過水タンク周りに防護壁設置	2号機	平成24年度上期実施予定
	使用済燃料貯蔵池冷却機能の確保	消防車、可搬式動力ポンプ、消火ホースの配置、保管場所、健全性確認	共通	配備済み (平成23年4月下旬追加予定)		使用済燃料貯蔵池への給水機能の強化	1号機	平成23年度下期実施予定
						使用済燃料ピットへの給水機能の強化	2号機	平成23年度下期実施予定
	定期検査における特別点検	炉心冷却機能の確保(炉心スプレイポンプスプレイノズル、格納容器スプレイポンプノズル健全性確認)	1号機	平成24年2月実施予定 (定期検査中)				
		炉心冷却機能の確保(非常用炉心冷却系、格納容器スプレイリング健全性確認)	2号機	平成23年12月実施予定 (定期検査中)				
		使用済燃料貯蔵池冷却機能の確保(使用済燃料貯蔵池冷却水ポンプ分解点検)	1号機	平成24年2月実施予定 (定期検査中)				
		使用済燃料ピット冷却機能の確保(使用済燃料ピットポンプ分解点検)	2号機	平成23年12月実施予定 (定期検査前に実施することで調整中)				
	安全上重要な設備機能維持のための対策	安全上重要な機器の冠水防止のため、既存扉の隙間へのシール施工等を実施	共通	平成23年4月下旬実施予定		安全上重要な機器の冠水防止のための既存扉の水密化	共通	平成24年度上期実施予定
						格納容器冷却系代替スプレイの設置	1号機	平成23年度下期実施予定
						格納容器耐圧ベントの設置	1号機	平成23年度下期実施予定
						海水ポンプの津波対策の強化(海水ポンプ津波防護壁等の新設)	1号機	平成23年度下期実施予定
						海水ポンプの津波対策の強化(海水ピット海水浸入対策の実施)	2号機	平成23年度下期実施予定
運用面の対策	今回の事象を踏まえた対策訓練の強化	全電源喪失を想定した訓練の実施	共通	平成23年4月中旬実施予定		全電源喪失を想定した訓練の実施	共通	継続して実施
	体制強化	シビアアクシデントに対する体制の強化(要員確保、手順書整備、電源供給、炉心冷却水ならびに燃料ピット冷却水の補給訓練の実施)	共通	平成23年4月中旬実施予定				
全般	県民説明	新聞折込等で情報発信	—	継続して実施		新聞折込等で情報発信	—	継続して実施

緊急対策(敦賀1号機)

添付1(2/3)

津波により、「全交流電源」、「炉心冷却機能」、「使用済燃料プール冷却機能」を喪失したとしても炉心損傷、使用済燃料損傷の発生を防止できる設備面での対策(①～④)および運用面での対策⑤

②非常用復水器の冷却機能の確保



①電源の確保(電源(車)の繋ぎ込み)

	電源(車)の配置	H23.3(済)
	訓練の実施	H23.4(済)

③使用済燃料池の冷却機能の確保

消防車の配置	事故前(済)
訓練の実施	H23.4(済)



③定期検査における特別点検

ECCS系の健全性確認	H23.3(済)
使用済燃料貯蔵池冷却水ポンプの分解点検	H24.2予定

④安全上重要な設備機能維持のための対策

既存扉の隙間へのシール施工等	H23.4(済)
----------------	----------

⑤運用面での対策

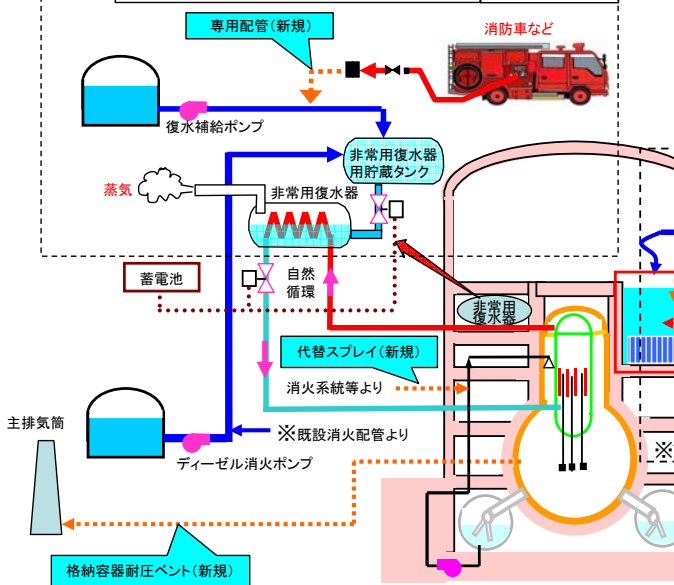
訓練の実施	H23.4(済)
緊急対応体制の確立	
福井県の皆様への情報発信	H23.4(済)、継続

応急対策(敦賀1号機)

緊急対策により、炉心損傷、使用済燃料損傷は防止可能と考えられるが、一層の安全性向上のため、多重性、多様性拡充対策として応急対策を策定

②炉心冷却機能の確保

非常用復水器への給水機能の強化	H24.2予定
-----------------	---------

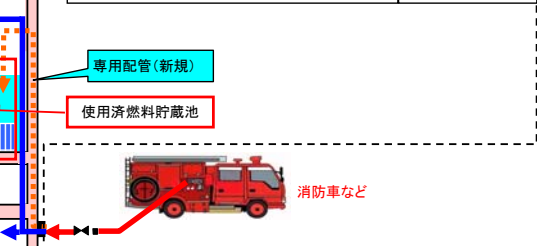


①電源の確保

非常用発電機代替設備の設置	H24.3予定
海水供給用可搬式ポンプの設置	H23.9予定
電源系の強化	H24.3予定

③使用済燃料池の冷却機能の確保

直接補給するための配管布設	H24.2予定
---------------	---------



④安全上重要な設備機能維持のための対策

既存扉の水密扉への取替等	H24.9予定
格納容器耐圧ベントの設置	H24.2予定
格納容器冷却系代替スプレー配管の設置	H24.2予定
海水ポンプの津波対策の強化	H24.2予定

緊急対策(敦賀2号機)

添付1(3/3)

津波により、「全交流電源」、「海水冷却機能」、「使用済燃料ピット冷却機能」を喪失したとしても炉心損傷、使用済燃料損傷の発生を防止できる設備面での対策(①～⑤)および運用面での対策(⑥)

①電源の確保(電源(車)の繋ぎ込み)

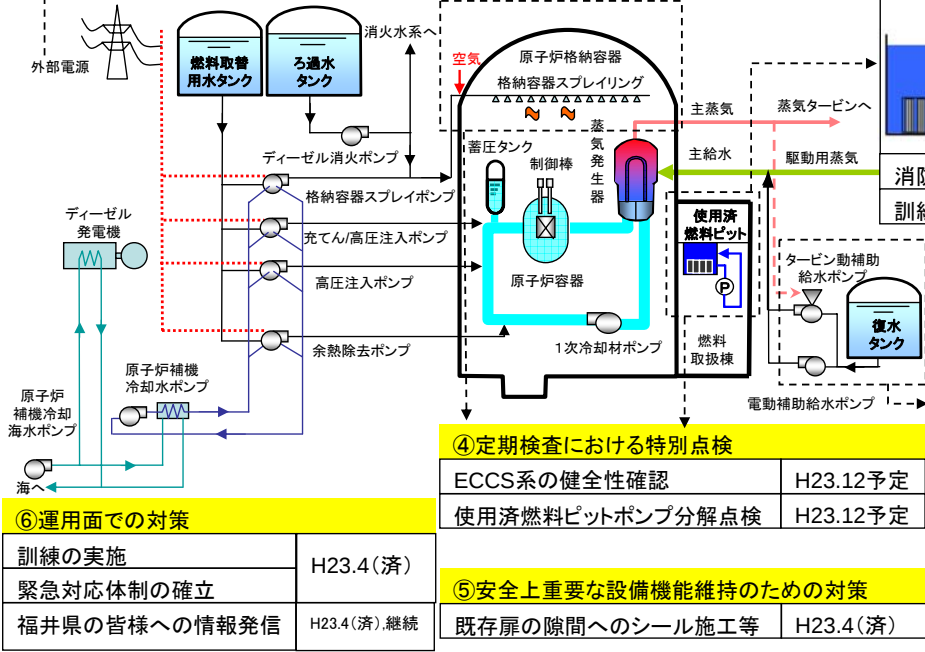
電源(車)の配置	H23.3(済)
訓練の実施	H23.4(済)

③使用済燃料ピットの冷却機能の確保

消防車の配備	事故前(済)
訓練の実施	H23.4(済)

②炉心冷却機能の確保

消防車の配備	事故前(済)
訓練の実施	H23.4(済)



④定期検査における特別点検

ECCS系の健全性確認	H23.12予定
使用済燃料ピットポンプ分解点検	H23.12予定

⑤安全上重要な設備機能維持のための対策

既存扉の隙間へのシール施工等	H23.4(済)
----------------	----------

応急対策(敦賀2号機)

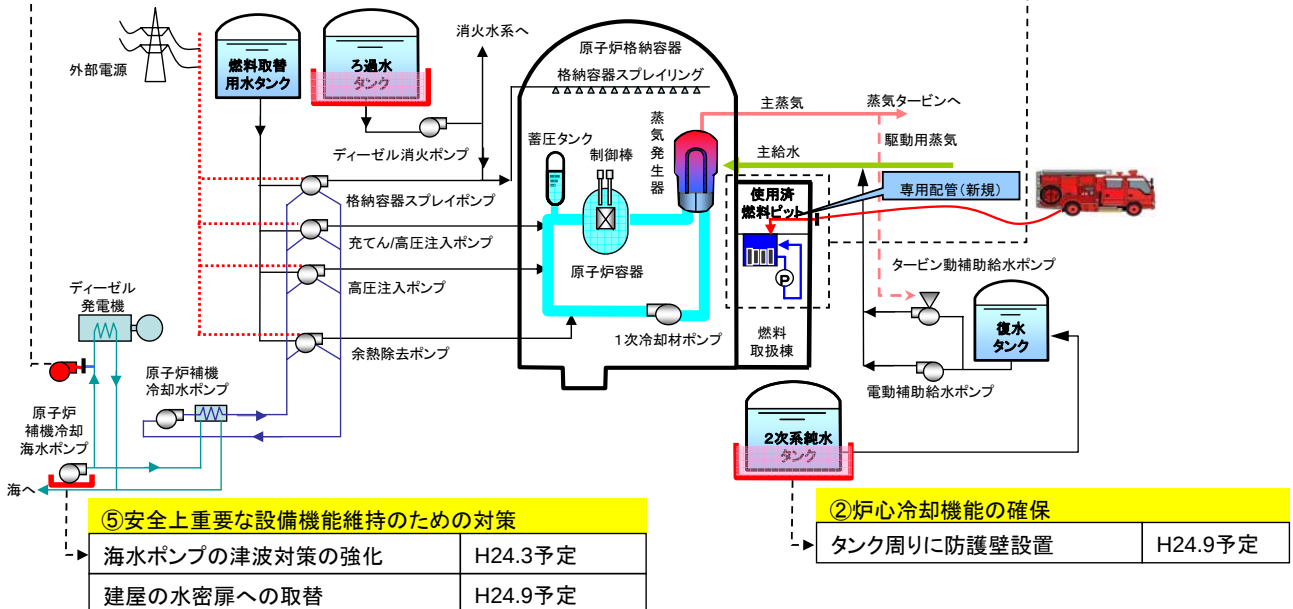
緊急対策により炉心損傷、使用済燃料損傷は防止可能と考えられるが一層の安全向上のため、多重性、多様性拡充対策として応急対策を策定

①電源の確保

非常用発電機代替設備の設置	H24.3予定(H23.4手配済)
海水供給用可搬式ポンプの設置	H23.9予定(H23.4手配済)

③使用済燃料ピットの冷却機能の確保

直接補給するための配管布設	H24.3予定
---------------	---------



⑤安全上重要な設備機能維持のための対策

海水ポンプの津波対策の強化	H24.3予定
建屋の水密扉への取替	H24.9予定

②炉心冷却機能の確保

タンク周りに防護壁設置	H24.9予定
-------------	---------